

## 1. 幼稚園の運営

- (1) 所在地：水戸市緑町三丁目九番 36 号
- (2) 定員：140名 利用定員(水戸市に報告定員)：120名
- (3) 職員数：24名  
 常勤(13名)：理事長1名、園長1名、主任教諭1名、教諭8名、管理栄養士1名  
 運転手1名  
 非常勤(11名)：教諭5名、調理員4名、園バス運転手2名

## 2. 教育理念 神様に愛されている幼子、そして育てている保護者が喜びに満たされる生活を送れるように、今を大切に生きること。

年間テーマ 『愛されて育つ』

あなたがたは神に愛されている子どもです。

エペソの信徒への手紙5章1節

## 教育課程

- 一学期**： 出会いが保障され、出会いが意識化されることによって、喜んで自分の存在を受け容れてくれる存在がいることを、知っていく。
- 二学期**： 自然の中に感動を得、物事への興味を育み、他者を含め共に生きる存在がいることを前向きに喜んでいく。
- 三学期**： 自分を前向きに捉え、自分と違う存在が居ていいという肯定感を持ちつつ、仲間と共に何かを創りあげていく喜びを知る。

## 3. 保育時間

通常保育： 8時30分～14時

一時預かり保育： 8時から8時30分。保育終了後～17時30分(長期休業 8時～17時30分)

## 4. 職員と園児数

- (1) 29年4月採用2名(保育者) 12月採用1名(保育者)／30年3月末の退職者2名(保育者)
- (2) 園児数月ごと変化 106名-106-106-106-105-110-109-109-108-108-108-108

## 5. 主な行事 / 金曜日 礼拝 / 月ごとに 誕生会 / 各避難訓練

一学期	二学期	三学期
新入児二者面談	遠足	保育参加
親子遠足	運動会	積木ワークショップ
植物栽培／クッキング	さつまいも堀遠足	もてなしクッキング
木工	クッキング	観劇会(劇団風の子)
保育参観	消防署訪問	高齢者クラブの方との交流
プール	こどもまつり	ひなまつり会
お泊まりキャンプ	クリスマス会	親子給食会食会
個人面談	親子陶芸(子育て支援事業)	卒園・終了式

## 6. その他の活動

水戸市合同説明会 6月27日(火) 見川総合体育館

入園説明会 9月30日(土)

にじいろチャイルドの会 園児観察8回・コンサルテーション6回・保育者講座2回

保護者対象5回 (茨城大学大学院 金丸隆太先生)

おはなしはらっぱ 年長児対象 実施回数5回 (茨城キリスト教大学 原口なおみ先生)

未就園児親子くらぶ (つくしっこくらぶ) 実施回数14回

子育て相談 4月、8月以外毎月 実施回数19回

園庭開放 (木もれびの庭) 10回

ホームページ月ごとに更新/ブログ～

教育実習生受け入れ 茨城キリスト教大学2月 2名

## 7. 今年度の教育用購入品

プール用人工芝 災害用非常持ち出しセット 抗菌砂場用砂

ベンチ 棚 絵本 積み木

## 8. 今年度の保育評価

満3歳児から5歳児までの混合クラスが4クラス。2017年度は園児数は前年度と同程度。一クラス27人前後の生活クラスとなる。個別支援を必要とするお子さんのクラスの中の在籍数は、クラスによりばらつきがあった。個別支援計画を立てない方でも、こだわりの強いお子さんが多い年度であった。愛着関係を重視して、信頼感を醸成していく。またクラス運営も子どもが主体性を持って提案し、保育者も話し合いに入って取り上げていく空気感を大切にしてもらえるよう、保育者に繰り返し伝えてきた。視覚情報で提示するなど、誰にとってもわかりやすい方法を取り入れるよう努めたが、見やすさなどまだまだ改善の余地があった。事務負担の増加が課題であったが、保育記録を書く紙面を1/2にしたり、記録の時間の短縮をはかる。保育後子どものエピソードを愉しげに話し合うグループ担任達の姿が増え、プラスの評価としたい。また1年目の保育者も臆せず話しを提供してくれて、なごむ保育者集団として成長した。主任が柔らかくもはっきりと間に入り伝えることで、改善されていく場面があった。

預かり保育は長期の利用者が15名を越え、来年度など定員を増やす可能性が出てくるのが考えられる。夏期中は保育者を3名体制で回す場合は、やり方を変える必要が出てくる。

困難だったのは、さくらGの補担任・4才児担任が秋より出勤できなくなり、2学期は園長が光組の保育を担ったり、おたよりを作成したりする必要が出てきた。12月には中途採用の方がみつき、さくらGの保護者には不信感が芽生えずに済んだことがある。一度体調を崩した職員のフォローは難しく、本年度はその方の事務的なことを社会労務士の方に依頼できて、助けられた。

食物アレルギーでの対応は、引き続き個別対応を徹底した。特に重い方がいないときの方が、栄養士も気持ちが緩みやすく、園長は気が張りやすかった。

報酬面では、賃金改善手当2という制度が始まり、かなりのアップが図られた。そのかわり研修などキャリアアップが今後必須項目となる。保育者の休日保障との兼ね合いが難しくなることが予想される。

ノロウイルス・インフルエンザなどクラスにより流行が見られ、保健所の指導が一度入った。